

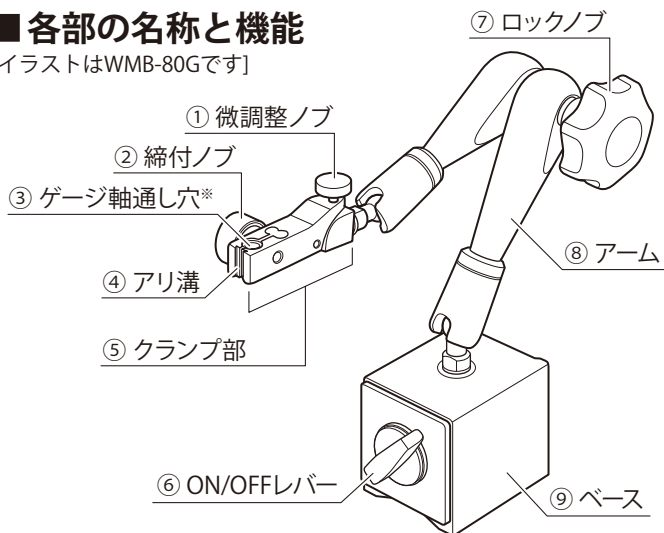
測定器保持具 マグネットベース ロックタイプ

この度は「マグネットベース ロックタイプ」をお買い上げいただきありがとうございます。
この商品はダイヤルゲージ・ダイヤルインジケータ（てこ式）などの測定保持具として使用します。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に本取扱説明書を必ず読み、記載の手順に従ってご使用ください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る場所に大切に保管してください。
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- 当商品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは当社（裏面記載）にご連絡ください。

■各部の名称と機能

[イラストはWMB-80Gです]



- ①微調整ノブ …… 回すことで、クランプ部の先端角度を微調整できます。
- ②締付ノブ …… 測定器を固定するノブです。
- ③ゲージ軸通し穴 …… 測定器のステムを取り付ける穴です。
φ6mm用コレット付*
- ④アリ溝 …… 測定器のアリ板を取り付ける溝です。
- ⑤クランプ部 …… 測定器を取り付ける先端部です。
- ⑥ON/OFFレバー …… マグネットのON/OFFを切り替えます。
- ⑦ロックノブ …… 締めることで、アームとクランプの角度をすべて固定します。
- ⑧アーム …… 測定器を支える支柱です。
- ⑨ベース …… 底面のマグネット部で吸着するベースです。

*ゲージ軸通し穴には軸径6mm用のコレットが付属しています。
ゲージの軸径に合わせてご使用ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを右記のように説明しています。

⊘ してはいけない内容
『禁止事項』です。

⊙ 必ず実行していただく
内容『強制事項』です。

⚠ **注意** お守りいただかないと『傷害を負う、または物的損害が発生するおそれがある内容』です。

- ⊙ **取扱説明書をよく読み、指示に従う。**
 - ・取扱説明書に記載された内容以外での使用は、事故の原因となります。
- ⊙ **下記の条件を満たす環境で使用・保管する。**
 - 雨や水、油などがつかない、乾燥した場所
 - 高温にならない場所
 - 子どもや、使用者以外が近づかない場所
 - ・上記に反する場所での使用は製品の破損、事故やけの原因となります。
- ⊙ **強い磁界・磁力に注意する。**
 - ・時計などの精密機器やパソコン、磁気カードを近づけると、その機能を損なう恐れがあります。
 - ・ペースメーカー使用者は、マグネットツールを取り扱わないでください。
 - ・不用意に鉄板などに近づけると、強い吸着力のために急に引き付けられ、指先などにけがをすることがあります。手袋の使用など、身体の安全に心掛けてください。
 - ・ON/OFFレバーがOFFになっていることを必ず確かめてから、鉄板などの吸着対象物に近づけてください。
 - ・本製品は、工業用に設計・製作された強力なツールです。一般家庭やオフィスで使用される場合は、十分注意してお使いください。
- ⊙ **マグネット本体を支えてON/OFFを切り替える。**
 - ・不用意にON/OFFレバーを操作すると、突然磁力が消え、落下したり倒れたりして、事故を引き起こす危険があります。必ず本体を支えて、ON/OFF操作を行ってください。
- ⊙ **使用前に吸着力を確認する。**
 - ・ご使用に際しては、まず対象物に吸着させてみて、用途に足りる吸着力であることを必ず確認してください。
- ⊙ **吸着力は大きく変化するため注意する。**
 - ・以下の場合には吸着力が低下しますのでご注意ください。
 - 吸着対象物が薄い。
 - 軟鋼板以外の材質に吸着させている。
 - 吸着する面に凹凸やゴミの付着、塗装などによる隙間があいている。
 - ・吸着する力に比べ、吸着物が横すべりする力は、はるかに大きくなります。垂直な面に吸着させる場合は、特に注意してください。
 - ・機械の振動などによって、吸着物はすべりやすく、はがれやすくなりますので注意してください。
- ⊙ **使用後の保管時はマグネットをOFFにする。**
 - ・保管の際は必ずON/OFFレバーをOFFにしてください。ONのまま吸着面に鉄板を吸着させておきますと、不用意な吸着による事故につながります。
- ⊙ **大切に取り扱い扱う。**
 - ・ぶつける、落とすなどの衝撃を与えたり、重量物を上に乗せたりしないでください。破損の原因となります。
 - ・ロックノブを締めた状態で、無理にアームを動かさないでください。破損や故障の原因となります。
 - ・製品に傷をつけないでください。
- ⊘ **製品の改造を行わない。**
 - ・製品の破損や事故の原因となります。

使用前の準備

ご使用前に、下記の準備を行ってください。

●変形や破損が無いか確認する。

製品に変形や破損がある場合は使用できません。
新しい部品に交換してください。

●取り付ける測定器を準備する。

下記『仕様』欄の『測定器取付可能サイズ』に沿って、取付可能な測定器（ダイヤルゲージ・ダイヤルインジケータなど）をご用意ください。

使用方法

■マグネットのON/OFF

ON/OFFレバーを回すことで、磁力のON/OFFが切り替わります。

- △ ご注意**
- 急にレバーをONにすると強い吸着力で指などが挟まれ、けがの恐れがあります。安全を確認してから操作してください。
 - ご使用前にまず対象物に吸着させてみて、用途に足りる吸着力であることを必ず確認してください。

■測定器の取り付け

①締付ノブをゆるめて、測定器のステムをゲージ軸通し穴へ差し込みます。(図1)

※φ8mmステムの測定器を取り付ける場合は、ゲージ軸通し穴に取り付けられているφ6mm用コレットを取り外してください。

②測定器のステムをクランプ部で挟み、締付ノブを締めて固定してください。(図1)

※測定器のアリ板で取り付ける場合は同様に締付ノブをゆるめ、アリ溝に通して締付ノブを締めてください。(図2)

- △ ご注意**
- 締付ノブは強く締めすぎないでください。測定器の破損や精度不良の原因となります。
 - 測定器のステム以外の部分では保持しないでください。測定器の破損や精度不良の原因となります。

■アーム位置の調整

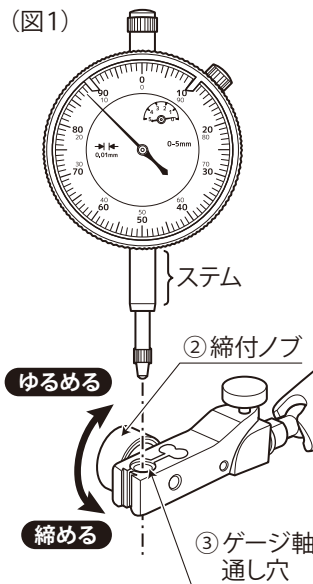
ロックノブをゆるめることで、すべての可動部のロックが外れ、アームを自由に動かすことができます。
任意の位置でロックノブを締めると、アームの位置が固定されます。(図3)

- △ ご注意**
- ロック状態でアームを無理に動かさないでください。アームとベースの接続部(A)がゆるみ、ロックノブが効かなくなります。

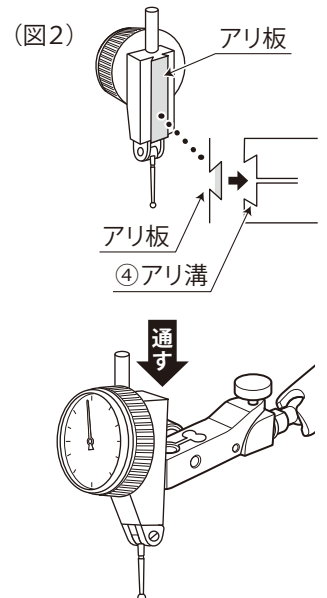
■クランプ部の微調整

微調整ノブを回すと、クランプ部先端の角度が変わり、測定器の位置を調整することができます。(図4)

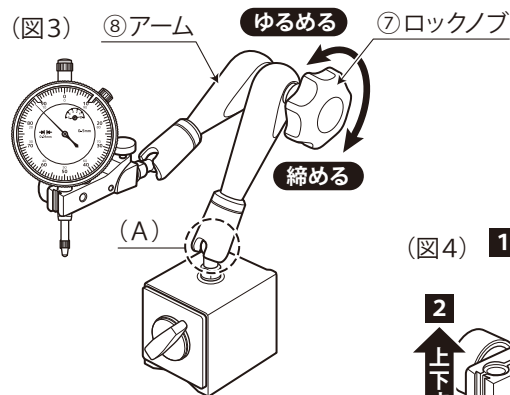
(図1)



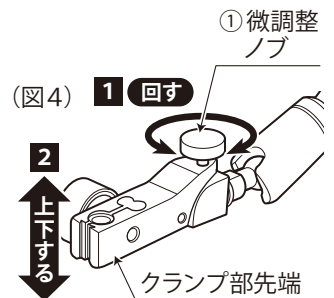
(図2)



(図3)



(図4)



使用後のお手入れ・保管方法

●汚れや油などを乾いたウエスで拭き取り、防錆処理を行う

●ベースのマグネット部は錆びやすいため、ご使用後は必ず防錆処理を行うか、防錆袋などに入れて保管してください。

●下記の条件を満たす場所で保管する

- 雨や水、油などがかからない、乾燥した場所
- 高温にならない場所
- 子どもや、使用者以外が近づかない場所

●使用後の保管時はマグネットをOFFにする

●不用意な吸着による事故を防ぎます。

修理の際は

●正常に作動しない場合や、不明な点がございましたらお買い上げの販売店または、発売元までご連絡ください。

●お問い合わせや、ご連絡が無いまま直接発売元に修理品などを送付されても処理、対応ができない場合がありますのでご了承ください。

仕様

品番	吸着力(約)	マグネット材質	ベース寸法(W×D×Hmm)	アーム取付ねじ径	質量(g)
WMB-50G	500N	ネオジム	40×40×40	M6	710
WMB-80G	800N	フェライト	50×60×55	M8	1380
WMB-100G	1000N		50×75×55		1830

●測定器取付可能サイズ：φ6mmステム / φ8mmステム / アリ板
※ダイヤルゲージの耳金には取り付けできません。

発売元 **SC** 新潟精機株式会社

〒955-0055 新潟県三条市塚野目5丁目3番14号
☎(0256)33-5502(代) FAX(0256)33-5528

URL <http://www.niigataseiki.co.jp>

E1135-Q

20021000